



たまご

発行
茅野市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
☎ 73-4431
<http://www.sharara.or.jp/>

2012年12月1日

あの日を忘れない！ ～中学生達の取り組み～

東日本大震災から1年8ヵ月が経過した今、茅野市の中学生が何を考え、行動しているのか。その姿を追ってみました。



▲永明中「東北応援プロジェクト」参加報告会



▲7月21日 石巻市三反走仮設住宅の方々との交流会
東部中吹奏楽部の演奏



▲11月10日チャリティーライブ＆
映画上映会の会場で演奏

東部中3年4組は、東日本大震災以後、自分たちに何が出来るのかを考え、6月から太鼓を練習しました。今すぐにボランティアには行けませんが被災地に想いを寄せる11/10のチャリティーライブに参加させていただきました。

また、自分たちを育ててくれているこの地域のお年寄りの役に立ちたいと考え、西部デイサービスセンターでも演奏させていただきました。

ボランティア
市民活動
センター

運営委員会便り

No.4

私たちのまち ボランティア市民活動のちから

身近にあるボランティア・市民活動を支える仲間を紹介します



今回は、5月からボランティア・市民活動センターの運営委員を務めている諏訪東京理科大学経営情報学部2年生の好村悠希さん（20歳）に、ボランティア活動に関心を持ったきっかけや普段の活動の様子について、寄稿していただきました。

好村さんは、諏訪東京理科大学のボランティアサークル「ボランティ」部長でもあります。



平成24年8月 吉里吉里海岸でのボランティア活動の様子

私たちの活動はこういったものだけではありません。むしろこの地域（茅野市）を中心とした日常の活動を一番大切にしています。

最近の活動として、「玉川コミュニティまつり」ではバルーンアートで1,000個もの風船を膨らませ、子どもたちと楽しく交流をしました。「縄文祭り」では火起こしや勾玉作りに熱心に取り組む親子の姿に触れる中で、人の持つほのぼのとした温かさを感じました。

茅野市における活動の中で、私のボランティア観を変えたのは「小泉山の山開き」で子どもたちと遊んだことです。それまでボランティアと言えばゴミ拾いや福祉ボランティアだと思っていたのですが、子どもと遊ぶボランティアもあるのかと衝撃を受けました。

私は、こういった活動で地域の多くの方々と出逢いました。また、できないと思っていたことでも仲間とやってみたらできてしまいました。こうして、私の世界観は180度とはいえませんが、120度くらい転換しました。大げさかもしれませんが、それによって私の人生が豊かになったのではないかと思います。

私は、高校生の時からボランティアへの意識が高かったのですが、卒業式の直後に起きた東日本大震災は決定的でした。それで大学進学をしてすぐにボランティアサークルにとび込み、実際岩手県での被災地支援を企画して2回ボランティアをしてきました。

昨年は河原の清掃（菜の花プロジェクト）をし、今年は吉里吉里海岸の清掃で土や砂と格闘しました。2年にわたり保育園を訪れて子どもと遊ぶ活動もしました。子どもたちが落ち込んだりふさぎこんだりしているのではないかと予想していたのですが、それを超えた弾けるエネルギーに驚き感心しました。支援に行ったのにもかかわらず、私たちの方が元気をもらった気がします。微力ながらも私たちは来年以降も支援を続けて行くつもりです。

VOLUNTI
tokyo university of science, suwa
volunteer circle "volunty"

諏訪東京理科大学
ボランティアサークル
ボランティ



平成24年5月 小泉山の山開きにて

東北応援プロジェクト 企画第二弾

『ふれ愛フェスティバル』で被災地の海産物を販売しよう！

被災地の復興支援をしようと、9/30 の『ふれ愛フェスティバル』において、宮城県石巻市雄勝地区の海産物を販売しました。お買い上げいただいた皆さん、ありがとうございました。

売上金 89,150 円 ≪10/30 に送金≫

東北応援プロジェクト 企画第三弾

宮城県名取市美田園第3 仮設住宅で交流会を開こう！

『ふれ愛フェスティバル』において、来場された皆さんに協力を呼び掛けたところ、大勢の方々にご支援をいただきました。下記に活動の報告を掲載しました。

10/26 ～ 10/27 の間、宮城県名取市の仮設住宅の皆様と交流して参りました。茅野市で応援して下さった皆様の輪が広がり、新米を沢山届けることができ、有難さ一杯の旅でした。

現地では、震災直後から交流のある名取市市役所職員の方の仲介、仮設住宅自治会長ご夫妻のご協力もあり、近くの公民館を借りて、地域調達の宴会料理の他、笑顔と歓声の楽しい雰囲気の中で交流出来ました。二次会ではとても打ち解けて、肩を寄せ合いながらお話を伺うことができました。

時期を経るにつれて被災地域が抱える課題は異なる中、私達の訪れた所では自治会長の目標が自立へと歩みだしているのを感じました。個人に降りる支援金は有っても、自治会に降りるお金は有りません。被災者の方々から高額の会費を募る訳にもいきません。自治

会で自立の為に活動をして行きたくても先立つ運転資金が無いのが実情の様です。皆さんから応援いただいた協力費は、自治会費として使っていただくよう会長さんに手渡しました。

復興はまだまだです。風化が最も危惧されます。また私達の支援も今後は自立に向けての支援へと移って行かなければいけないと、今後の課題も抱えての帰途となりました。プロジェクトリーダー 田中 博



今考えたい、東日本大震災の復興支援

東日本大震災から 1 年 8 ヶ月が経過した今、私たちができる復興支援の“カタチ”を考えてみませんか？

7 月石巻三反走仮設住宅の方々が茅野市を訪問されました。そこで感じたのはまだ変わらぬ心の傷と引き続き繋がっていく必要性でした。11/10 石巻支援を行っている歌手澄淳子さんを招いて、「これから何ができるか？」をテーマにチャリティライブを企画しました。当日はスタッフ合わせて 100 名を超える方々にご参加いただき、被災地域に想いを寄せる市民が沢山いることが分かり勇気が出ました。

このイベントに先立ち、10/27 から石巻市を再訪しました。茅野市を訪れた訪問団長の阿部さんの奥さんを訪問しました。いかに茅野に来て楽しかったか、他人がどうしてここまで優しくしてくれたのだろう、東部中学校の生徒の演奏がいかに素晴らしかったかと涙を流しながら語ってくれました。石巻市に彼らが訪問してくれるなら協力したいと言ってくれました。

また、大川小学校の被災前の写真を前に涙ながらに震災を語り、未だ傷が癒えていないのを感じました。今年の春に大川小に孫が入学した K さんは、お孫さんが 1 時間の道のりを学校に通い、友達もできにくいことを切々と訴えられました。E さんは、支援打ち切りで高齢者の月一回の慰労会が開けなくなったことを残念がっていました。現地の医師 1 先生は増える在宅医療の患者で疲労が重なっていました。

訪問して茅野市としてまだ沢山、石巻市の方を支えることが出来ると感じました。早速、諏訪中央病院はカンパを慰労会のために届けます。今後は K さんのお孫さんのような、苦境に立つ子供たちを勇気づけるために、茅野市のこどもと石巻市のこどもの現地での交流を実現させたいと思っています。

皆さんもできることがあります。私たちと一緒に語り合い、今後も被災地支援を続けていきましょう。

諏訪中央病院 内科医師 金子 一明



情報ネットワーク

12月の主な予定

総務福祉センター使用団体
V・市民活動センター事業

- 第1・3 (月) かにさん (収集整理V)
- 第1・3 (金) まほうのことば (手話学習V)
- 第2・4 (火) 要約筆記ひまわり (要約筆記V)
- 星の会 (点訳V)
- 第2・4 (水) 手話ダンス千の風 (手話ダンスV)
- 第2・4 (木) どさゆさ (演歌体操V)
- 毎週 (金) すずめのお宿 (いきいきサロン)
- 毎週 (水) わかばフィットネス
- 4日 (火) 腹話術友の会
R for I
- 5日 (水) ボランティア・市民活動センター運営委員会
- 6日 (木) 傾聴パートナー「あ・うん」(傾聴V)
- 8日 (土) どっこいしょ喫茶 (どっこいしょ広場)
- 11日 (火) R for I
- 12日 (水) わかばフィットネス
- 18日 (火) 地区ボランティアコーディネーター連絡会
- 傾聴ボランティア「ひだまり」
- 22日 (土) 歌の集い (どっこいしょ広場)
- 26日 (水) わかばフィットネス
- しあわせの喫茶店しやべくる



どなたでも
聴講できます

聴こう・考えよう
福島のこと・原発のこと

講演会「原子力災害から 今日まで」開催

12月22日 (土)

13:30~15:30

お話しくださる方: 大江 実さん

福島県浪江町にお住まいの際、東日本大震災に伴う原発事故の被害にあわれ、現在は茅野市に避難し、福島と茅野を行き来されている方です。

会 場: 茅野市文化センター

《申込不要。直接会場へお越しください。》

主 催: VG 四葉 (しょう)

※お問い合わせ: 090-9354-2102 (盛川)



緑のカーテンコンテスト 入賞者発表



今年の『緑のカーテンコンテスト』では、22 点の力作が市役所のロビーを飾り、沢山の方に投票していただきました。表彰式は 11 月 28 日の社会福祉大会で行われました。受賞をされた皆さん、おめでとうございます。〈敬称略〉

- ★ 最優秀賞 植松 吉三
- ★ 優秀賞 伊藤 和子 丸澤 怜哉 茅野警察署
- ★ 準優秀賞 金沢小学校 湖東地区こども館
- きたはら ゆうな・さやな・わかな・はるな
- 池田 徹 吉田 玲子 井出 則子
- ★ 努力賞 岡田 澄江 眞道 美枝子 井原 勝子
- 五味 徳和 五味 義人 米沢小学校
- 笹原保育園 北山保育園 この街学園
- 八ヶ岳泉龍太鼓 北山地区こども館「星空館」

茅野園芸福祉実践講座 を開講します

園芸福祉は花や緑を育ててみんなで幸せになろうという活動です。信州の気候に合った園芸植物の育て方、美しく、安らぐ庭づくり、花壇づくりの基本を学びます。

園芸が好きな人、自分の庭や地域を花や緑でいっぱいになりたい人、福祉施設等の花壇を素敵にしたい人、定年後の生きがいを見つきたい皆さんを応援します。



日 時	テ ー マ
平成25年 1月15日 (火) 13:00~16:00	「花と緑を育て、 地域に活かす」
2月12日 (火) 13:00~16:00	「花や緑を楽しく育て、 元気になろう」
3月26日 (火) 9:30~16:00	「皆で楽しみ、 楽しませる庭、 コンテナづくり 他」

場 所 茅野市総合福祉センター 3階
定 員 25名
参 加 費 500円
教 材 費 実費 (実習の育苗、コンテナ等は受講者持ち帰り)
申 込 12月10日より先着順
申込み先 茅野市社会福祉協議会 TEL: 73-4431

※この講座には「ボランティアグループ活動助成金」が使われます。

主催 おひさまクラブ 共催 茅野市社会福祉協議会